



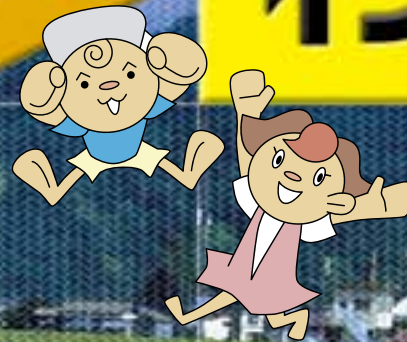
し

な

の

が

わ



しなのがわかせんじむしょ
信濃川河川事務所

川のそばに、人のくらし

はるか昔から、川は人のくらしにかかせないものでした。
 そして、人は川とともに歴史を重ね、文化を生み出してきました。
 わたしたちが住む信濃川中流域もその恵みを受けながら発展し、
 多くの人々がくらしています。



信濃川の位置



信濃川って、どんな川?

名前の由来

信濃川は、長野県と新潟県の二県をまたがって流れています。
 上流の長野県内では「千曲川」と呼ばれていて、それが新潟県に入ると「信濃川」に名前が変わるのです。「信濃」とは長野県の旧国名で、新潟県では「信濃の国から流れ込んでくる川」という意味から「信濃川」と呼ばれるようになったといわれています。

赤い点線の中に降った雨は信濃川に流れます。

信濃川の源流



日本一長い信濃川の源流は、甲武信岳(標高2,475m)にあります。甲武信岳は、名前のとおり甲州(山梨県)・武州(埼玉県)・信州(長野県)の3県の境に位置し、秩父多摩国立公園に指定されています。湧き出る水は、千曲川から信濃川となって日本海に流れていきますが、反対側に流れ出る水は荒川・富士川となって太平洋に流れていきます。



甲武信岳山頂

信濃川の概要

川の長さ (km)

順位	河川名	幹川流路延長 (km)
1	信濃川(北陸地方)	367
2	利根川(関東地方)	322
3	石狩川(北海道)	268
4	天塩川(北海道)	256
5	北上川(東北地方)	249

※信濃川の長さ367kmは新潟～東京間の新幹線延長距離とほぼ同じです。

流域面積 (km²)

順位	河川名	流域面積 (km ²)
1	利根川(関東地方)	16,840
2	石狩川(北海道)	14,330
3	信濃川(北陸地方)	11,900
4	北上川(東北地方)	10,150
5	木曾川(中部地方)	9,100

※信濃川の流域面積は新潟県の面積とほぼ同じです。※流域面積というのは、降った雨がその川に流れ込む区域を言います。

一年間に流れ出る水量 (億m³)

順位	河川名	年間流出量 (億m ³)
1	信濃川(北陸地方)	163
2	阿賀野川(北陸地方)	142
3	最上川(東北地方)	138
4	北上川(東北地方)	123
5	雄物川(北海道)	93

※信濃川から一年間に流れ出る水量は猪苗代湖の約4杯分に当たります。※河川便覧2006より

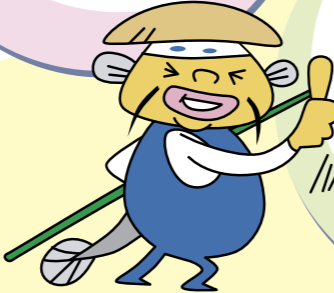
川の案内人を紹介します。



かわのすけ君
 元気いっぱいの子。自然の中で遊ぶのが大好きです。最近釣りを始めたことで、川にはいろいろな生き物がいることを知りました。



しなのちゃん
 明るくてハキハキした女の子。自然の中に咲くお花が大好きなので、川辺はお気に入りの場所。歴史にも興味があります。



せんどう船頭さん
 信濃川の生き物と話ができる、ふしぎな船頭さん。川のことならなんでも知っています。船を自由自在にやつれます。

もくじ

- 01 川のそばに、人のくらし
- 03 くらしなのかわ「信濃川の恵み 1」
人のくらしにかかせないもの—水
- 05 くらしなのかわ「信濃川の恵み 2」
いろいろな産業で活躍する水
- 07 つよしなのかわ「信濃川を治める 1」
恵みだけじゃない、こわい川でもあった信濃川
- 09 つよしなのかわ「信濃川を治める 2」
どうしたら災害をふせげるの?
- 11 たのしなのかわ「信濃川と遊ぶ 1」
心をうるおす水辺の世界
- 13 たのしなのかわ「信濃川と遊ぶ 2」
もっと、川で楽しもう!
- 15 やさしなのかわ「信濃川の環境を守れ 1」
信濃川を観察してみよう!
- 17 やさしなのかわ「信濃川の環境を守れ 2」
いつまでも、美しい川のままで
- 19 信濃川の支流
- 23 もっと、信濃川を知るために

人のくらしにかかせないもの 水

人が生きるために必要な飲み水をはじめ、朝起きれば顔を洗って歯をみがき、トイレで用を足したら水を流したり、夜にはお風呂に入ったり…。わたしたちのくらしには水がかかせません。このように生活に利用される水を「生活用水」といいます。

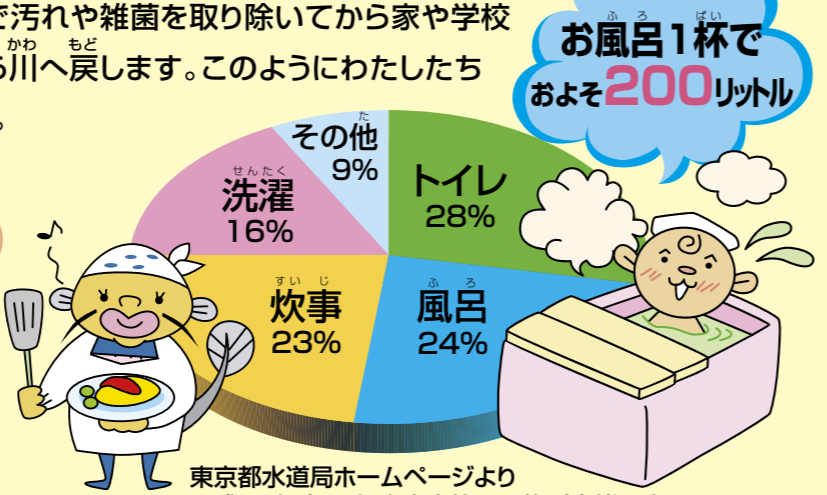
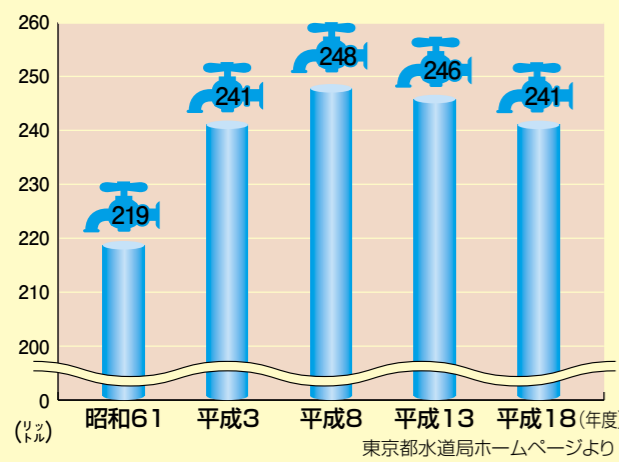


生活に必要な水は、どこからくるの？

わたしたちが家庭で使う1日の水の量は、一人あたりおよそ250リットル。毎日、こんなにも多くの水が使われているのです。では、水道から流れ出る水はどこからやってくるのでしょうか。

右ページのイラストを見てください。雨や雪が川に集まって生活用水に使われています。もちろんそのままでは使えないので、浄水場で汚れや雑菌を取り除いてから家や学校へと送られます。使った水は、きれいにしてから川へ戻ります。このようにわたしたちのくらしとかかわりながら水は循環しています。

家庭で一人が1日に使う水の量は？



君の家では、どんなふうの水を使っているかな？



川にまつわる話 その1

はるか縄文時代から、くらしをうるおしてきた信濃川

昔から人々は川を利用して生活してきました。現在のよう
に鉄道や車が広まる前は船が人やものを運ぶ手段であったり、
また、魚などの食料を求めたりする場所でもありました。

舟運の歴史

鉄道や自動車が交通の中心でなかった明治時代まで、人やものを舟で運ぶ「舟運」がさかんでした。長岡と新潟の間を行き来する「長岡船道」や、上流の十日町には「妻有船道」、六日町方面には「上田船道」がありました。最も栄えたのは江戸時代。山の幸が下流へ、海の幸が上流へ運ばれ、長岡船道では、年貢米、たばこ、織物、まき、下駄などが下流へ、逆に新潟からは塩、茶、鮭、鱒、ごさなどが運ばれてきました。



写真提供:新潟県立歴史博物館

信濃川流域では縄文時代の遺跡が数多く発見されていて、川を利用していた当時のくらしがうかがえます。新潟県立歴史博物館ではこのような縄文時代の生活が展示されています。



長岡市立中央図書館所蔵

豊かな川魚漁

最近ではすっかり姿を見ませんが、その昔、長生橋を中心とした信濃川中流域はアユやサケの漁場でした。

長岡市立中央図書館所蔵

くらしながわ 「信濃川の恵み 2」

いろいろな産業で活躍する「水」

信濃川の豊かな水は、生活用水以外にも農業や工業、発電などあらゆる産業に利用されています。



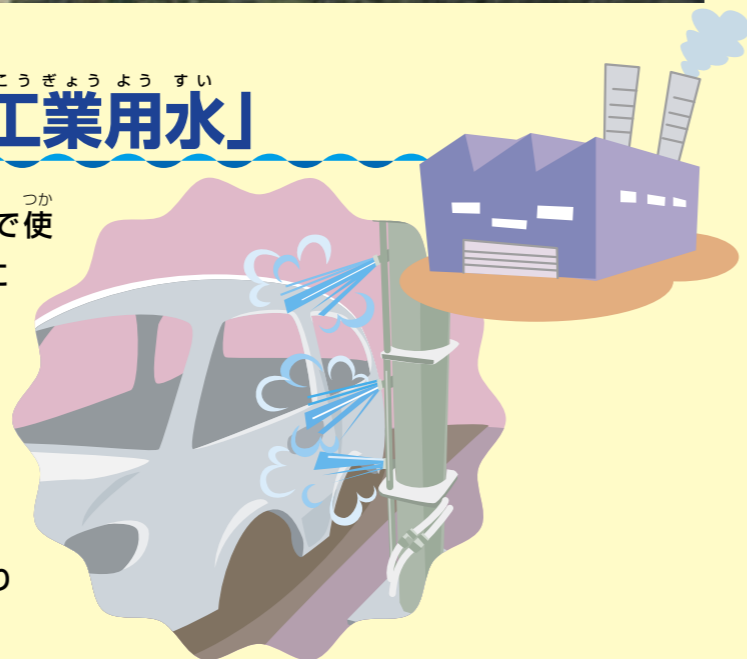
農業に利用される「かんがい用水」

「かんがい用水」とは田畑をうるおす水のこと。植物を栽培する農業にはかかせないもので、信濃川の水も農業に利用されています。信濃川流域には日本一のお米の産地として有名な所もあり、おいしいお米を育てるためには水質の良い川の水が必要なのです。

信濃川河川敷の田

工場で役立つ「工業用水」

「工業用水」とは、工場などで使う水のこと。ほとんどの工業に水が必要のため「産業の血液」ともいわれています。化学、鉄鋼、石油・石炭、繊維産業、食品製造などさまざまな分野で、物や機械を冷やしたり、製品を洗ったり、原料となったりしています。



川にまつわる話 その2

空から見れば一目瞭然。河川敷には田畑が広がり、運動場や緑地も見られます。

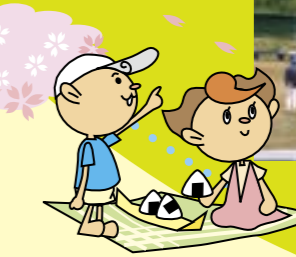


川の水だけでなく河川敷も大活躍!

河川敷の多くが田畑として利用されています。また、豊かな自然が残る河川敷は、人と自然が出会える場所。運動場や公園、緑地としても利用され、「水と緑のオープンスペース」として人々の憩いの場所となっています。

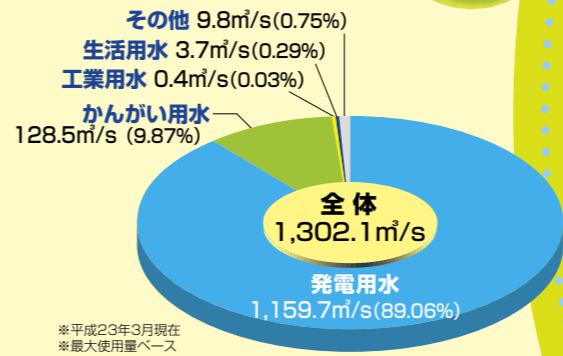


長岡市の長生橋付近では春になるとたくさんの菜の花が咲きます。

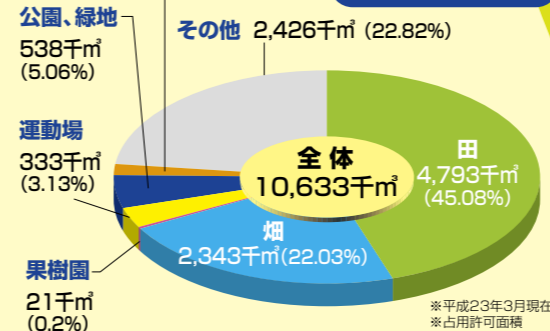


野球場などスポーツにも利用されています。

信濃川の水利用

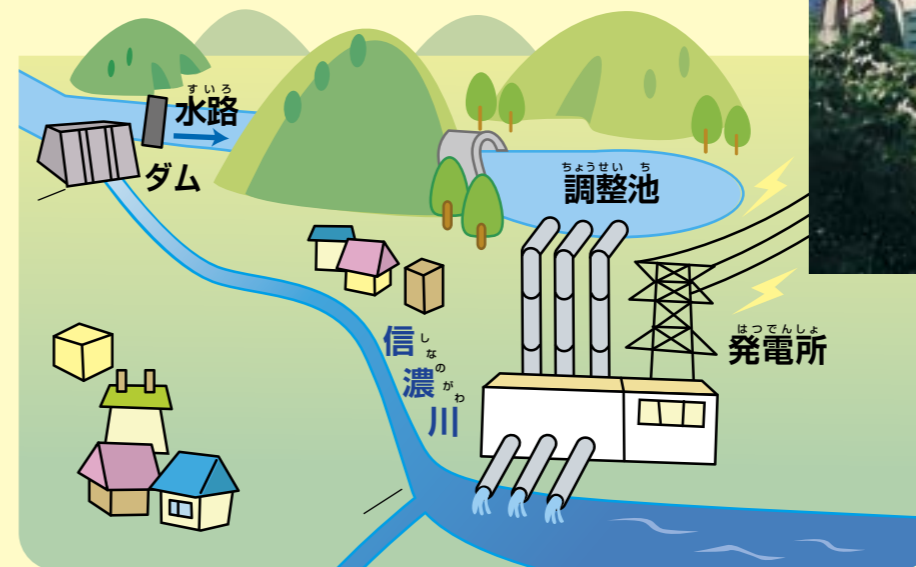


土地利用



電気をつくる「発電用水」

水力発電は、高いところから低いところへ流れ落ちる水のいきおい(位置エネルギー)で水車を回し、水車につながれた発電機を回転させて電気を起こします。信濃川中流域では豊かな水を使って発電が行われています。



ダムから調整池まで人工の水路で水を運ぶため、ダムから発電所までの区間は水が少なくなっています。

つよしなのがわ 「信濃川を治める 1」

恵みだけじゃない、 こわい川でもあった信濃川

信濃川は、ときには「暴れ川」となって大きな災害を起こしました。信濃川流域に住む人々は、どのように川と戦ってきたのでしょうか。

そのあだ名は、「暴れ川」

信濃川は昔からたいへん洪水の多い川で「暴れ川」とあだ名されたほどでした。江戸時代だけでも86回の洪水が記録されています。

横田切れ(明治29(1896)年7月)

大雨で各地の堤防が切れましたが、とくに旧分水町横田の被害が大きく、死傷者75人、流された家屋は25,000戸もありました。また、川の水位よりも低い越後平野では、あふれた水が11月になってもちがず、凶作や伝染病を流行らせる原因となりました。

曾川切れ(大正6(1917)年10月)

新潟市曾川で堤防が切れ、中蒲原郡一帯が水につかりました。被災地では生産していた野菜のほとんどがだめになり、学校も休校状態でしたが、船に生徒を乗せて授業をしていた学校もありました。

最近起きた水害

平成23年7月 新潟福島豪雨 平成23年7月29日

三条市と魚沼市の、福島県側の山側が特に大雨となり、南魚沼市の五十沢雨量観測所で総雨量が642mmを記録しました。この大雨で、信濃川と魚野川沿川で浸水被害が発生し、自動車や鉄道の交通網が寸断されました。支川では堤防決壊や大きな土砂崩れも発生しました。



浸水により寸断された交通(国道17号 魚沼市下島地先)



既往最大の洪水となった魚野川(根小屋橋)



洪水を日本海へ流す大河津分水路(第二床固附近)



横田切れの様子

近年の洪水 昭和53(1978)年から昭和62(1987)年は過去最大級の洪水が毎年のように発生しました。



昭和58年 十日町市高山地先の堤防決壊

大河津分水路完成までの道のり

かつての信濃川河口は湖のように大きく、川によって運ばれた土砂が堆積して湿原をつくっていました。湿原にくらす人々はたび重なる洪水の被害にあってきたので、海に最も近い大河津から分水路をつくり、川の水を海に流すことで洪水をふせぎ、湿地を安心して農業ができる土地に変えたいと願っていました。

江戸時代には大河津分水路の構想が考えられており、享保元(1716)年~享保20(1735)年、長岡市(旧寺泊町)の本間屋数右衛門らが大河津分水路の建設を幕府に願い出ましたが、今までにない大工事であること、莫大な工事費がかかることなどから幕府の許可がおりませんでした。

みんなの願い、大河津分水工事が始まる

明治になって、やっと政府の許可があり、明治42(1909)年から本格的な工事が始まりました。「東洋一の大事業」といわれ、当時の日本の最もすぐれた土木技術で行われました。実際に大河津分水路が通水したのは大正11(1922)年で、構想から200年もたっていました。



補修工事の歴史

通水からわずか5年後の昭和2(1927)年6月24日、自在堰が陥没しました。7月から11月にかけて応急工事が行われるとともに、「信濃川補修工事」として4年後の昭和6(1931)年6月20日、旧可動堰が完成しました。水流を維持しながらの工事はたいへんむずかしく、不眠不休の工事が続いたといえます。



川にまつわる話 その3



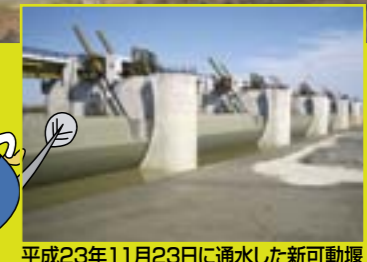
青山 土【明治11(1878)年~昭和38(1963)年】

パナマ運河工事に参加したただ一人の日本人技師。明治37(1904)年~明治45(1912)年までパナマ運河の測量設計をしました。昭和2(1927)年6月にこわれた大河津分水路の自在堰の補修工事のため新潟土木出張所長(現国土交通省北陸地方整備局長)となり、分水路の復旧のために働きました。



宮本 武之輔【明治25(1892)年~昭和16(1941)年】

大河津分水路補修工事の現場責任者で、竣工から70年以上たった今でも利用されている可動堰を設計しました。宮本には、こんなエピソードがあります。可動堰の完成が目前となったころ、長野県をおそった集中豪雨により工事中の分水路付近も水があふれそうになりました。このままでは新潟で大きな被害が出ると思った宮本は、工事が大きく遅れることを知りながら工事中の分水路を使って水を海に流し、人々を災害から守りました。



平成23年11月23日に通水した新可動堰

どうしたら 災害をふせげるの？

この絵のように、川には災害をふせぐ工夫がされています。
このように施設を設置したり、情報を集めたりして川の流
れを管理することを「治水」といいます。
治水によって、災害に強い信濃川が作られていくのです。

災害を防ぐために

薬師岳レーダー
基地局

レーダー雨量計

雨の量や範囲をキャッチして
関連機関へ情報を送ります。

堰

(川を)せき止めて水位を
調整します。

堤防

川から水があふれて田畑や住
宅地に水が流れ込むのをふせ
ぎます。両岸につくられます。

水位・雨量観測所

各地の雨量や水位を
リアルタイムで測ります。

ダム

川の水をためて、下流に
流れる水量を調節します。

水門

本川(大きな川)に支流(小
さな川)が注ぐとき、逆流や
氾らんをふせぎます。

排水機場

小さな川が
あふれそうになったとき、大き
な川へポンプで水を流します。

砂防えん堤

雨などにより川を流れてくる
土砂(土石流)をふせぎます。

川にまつわる へえな話 その4

災害にそなえる!

梅雨や台風の季節にそなえて、毎年5月の「水防月
間」に水防訓練が行われます。消防団、地域消防署、
関係市町村、新潟県、信濃川河川事務所など、さまざまな機関が参加

して、地域を守るために
協力し合います。

信濃川・魚野川の各
地で開催され、木流し工、
積み土のう工、ブロック
投入工などの実技訓練
が行われています。



縄結び



土のうづくり

洪水のときに、すば
やく、正確に対応す
ることが訓練の目
的。参加者の
顔も真剣です。

災害が起きたとき、どんな人が働いているのでしょうか

国土交通省	情報を集めて、実際に災害が起きている川や道路などで活動し、被害の広がりを食い止めます。
県・市町村	「災害対策本部」が設置され、情報を集めて発表するとともに、ほかの機関へ協力を呼びかけます。また、地域住民を安全な場所へ避難させます。
消防隊・消防団(水防団)	災害現場で被害にあった人々を救助したり、けが人やぐあいが悪くなった人を病院へ運んだりします。また、消防団・水防団は消防本部と協力して被害の広がりを防ぎます。
警察	災害現場に人や車が入らないように交通規制をします。また、救助活動やパトロールなどから住民の安全を守ります。
気象台	気象に関するデータを管理して、注意報、警報、気象情報を発表して人々に注意を呼びかけます。
日本赤十字社	病院と協力して「救護班」をつくり災害現場で治療を行います。
ライフライン	水道・ガス・電気・電話が災害によって使えなくなった場合、すぐに復旧を行います。
自衛隊	都道府県知事の要請を受けて災害現場に派遣され、さまざまな救援活動を行います。
マスコミ	被害情報や災害対策本部が発表する情報を多くの人々に伝えます。
ボランティア	救護や避難所の運営や炊き出しなどさまざまな救援活動を行います。

たのしなのがわ 「信濃川と遊ぶ1」

心をうるおす水辺の世界

水辺は昔から、釣りや水遊び、花見など、人々が集まってくる場所でした。最近では市街地にも、気軽に水と親しめる場所があります。このような場所を「親水空間」といいます。親水空間で、自然を観察したり、レクリエーションを楽しんだり、水がある空間のすばらしさを体感してみましょう。

水辺の楽校 つまりっ子ひろば

十日町地区周辺の信濃川は日本有数の河川段丘。その間を流れる信濃川は、自然観察にもってこいのスポット。スポーツや散策など水辺に親しめる「つまりっ子ひろば」は多くの学校から学習の場に利用されています。



ミヤマシジミ

「新潟のすぐれた自然の保全対象種」に指定されています。河原の周辺の草地に生息していて、はねの裏にオレンジの帯と黒い斑点があるのが特徴。オスは、はねの表面が青紫色で外側が黒でふちどられています。メスは、かっ色で、後ろのはねにオレンジの斑点があります。



五辺の水辺

小千谷市にある五辺の水辺は、妙見堰ができたことによって生まれました。魚介類が25種類以上、昆虫類が600種類以上、植物が400種類以上、鳥類が120種類以上もいる自然豊かな空間です。スポーツや水遊び、魚釣りを楽しむことができ、越の大橋下流左岸にある信濃川左岸河川公園では、キャンプやバーベキューもできます。



アカザ

近年、きれいな川で見られる貴重種の「アカザ」が増えてきました。顔に特徴があります。



魚野川ふれあい公園

清流魚野川に親しむ公園です。なだらかな川辺は樹木や石などを利用して、自然に近い形で整備されています。川のそばまで行けるので、植物や昆虫観察、釣りなどが楽しめます。また、魚野川改修資料館では水害や改修の歴史を知ることができます。



魚野川改修資料館



魚野川ふれあい公園



大河津分水公園



大正13(1924)年、大河津分水の通水を記念してつくられました。その約80年後である平成14(2002)年、洗堰の改築にともない、「信濃川大河津資料館」と一体となって、信濃川と大河津分水を学ぶ総合学習の場となりました。



信濃川大河津資料館

大河津分水は、多くの人の願いと努力によってつくられ、今も越後平野を水害から守っています。大河津分水を紹介するとともに、さらに親しんでいた資料館となっています。



国登録有形文化財 洗堰

平成12(2000)年に現在の洗堰が通水するまでの78年間働き続けました。登録有形文化財として平成14(2002)年2月14日に登録されました。



魚道観察室

信濃川中流域に生息するいろいろな魚を観察することができます。春から夏にかけてはアユ、オイカワ、ウグイなどが見られます。



体験水路

信濃川の水にふれて、水遊びができます。魚のすみかにもなっています。

もっと、川で楽しもう!

川は自然の宝庫。昆虫や植物、鳥や動物など数多くの生き物も住んでいます。さあ、わくわくするような出会いを求めて、しっかり準備をしてから、遊びに行きましょう!



川で遊ぶ準備をしよう!

観察するとき

軍手
焼けた石や砂、空き缶、ガラスなどから手を守ります。

長靴
長靴をはいていればすべりにくく、水際でもぬれません。

帽子
日ざしが強い日はかぶりましょう。

長そで・長ずぼん
虫などからはだを守るために夏でも長そで・長ずぼんを着ましょう。

川に入るとき

ライフジャケット
川に入るときは必ず着ましょう。川でおぼれそうになっても、これがあれば水面上に浮いていられます。

リバーシューズ
川の中の石や岩は、コケなどですべりやすくなっています。足をとられないように、リバーシューズやスポーツサンダル(ビーチサンダルとはちがいます)をはきましょう。

出かける前の注意 1.出かけるときは行先を家の人につけておく。 2.けっしてひとりで行かないで、なるべく大人といっしょに行く。友だち同士の時も3人以上で行く。 3.雨のあとなど川が増水しているときは行かない。今日の天気や、上流の地域に雨がふるかどうかをかならずチェックする。/危険をしめす掲示板があるところは行かない。 4.ぐあいが悪かったり、気が進まなかったりしたら、むりをして行かないこと。

お役立ちグッズ

ロープ・浮き輪
万が一、川に流されたときに。

ゴミ袋
ゴミはかならず持ち帰ろう。

携帯電話
水位や天気がわかる。緊急連絡にも役立つ。

カラフルな布
中州に残されたときの目印。

観察記録の用具
えんぴつ、ノートなど

採集の道具
金ザル、タモ網、容器(とった生物を入れる)など

箱めがね
川の中を観察するのに便利です。

緊急用の呼笛
首にかけておきます。

他にも...お弁当・水とう(川の水は飲まない)、夏場は日ざしをさえぎるシート、ばんそうこうなどの救急用具、虫よけスプレー、ゴーグル、シュノーケルなどがあると便利です。

川にまつわる話 その5

川の中流にあらわれる「瀬」と「淵」

川は中流になると、浅くて流れの早い「瀬」と、深く流れのゆるやかな「淵」ができます。川に棲む魚にとって、瀬はえさとなる藻や水生昆虫が棲み、また、産卵の場となります。淵は休んだり、眠ったり、敵から避難したり、大水や濁水のときは避難場所にもなります。このように、淵と瀬が組み合わせられることによって、川に棲む生き物が生活できるのです。

瀬には流れの早い「早瀬」と、流れのゆるやかな「平瀬」があります。



信濃川の祭り

長岡まつりと花火

昭和20年8月1日、空襲によって焼け野原となった長岡の復興を願う祭典が「長岡まつり」の始まりです。8月1日に、戦災殉難者慰霊祭、灯籠流し、民踊流し、みこし渡御が、2日・3日に大花火大会が開催されます。



おいらん道中

旧分水町の大河津分水には、3,000本の桜並木があります。毎年桜の開花に合わせて、けんらん豪華なおいらん道中が開催されます。



信濃川のイベント



信濃川 河岸段丘ウォーク

毎年4月29日(みどりの日)に、津南町から小千谷市まで、日本屈指の信濃川河岸段丘を歩く大会です。



水防フェア

水防の大切さを広く知っていただくために、毎年5月の「水防月間」に開催されています。



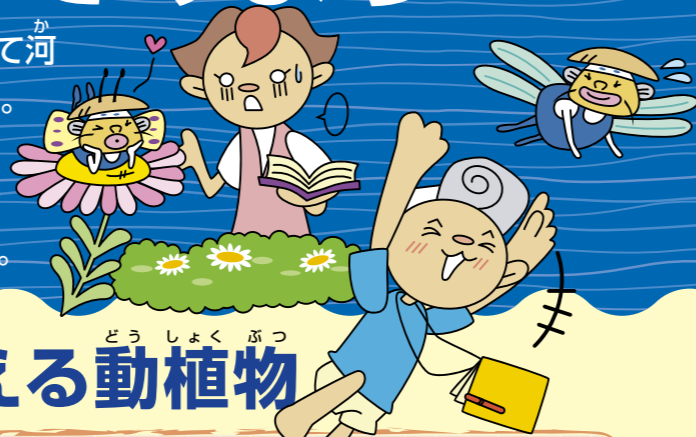
土木フェスティバル In Nagaoka

「土木」を見て、聞いて、ふれて、体験できます。イベントがもりだくさん。家族そろって楽しめます。

川遊びについては26ページの「川であそぼう」「じゃぶ じゃぶ 川ねっ!」のサイトなどを参考にしてください。

信濃川を観察してみよう!

信濃川中流域は、新潟・長野県境から小千谷市にかけて河
岸段丘が、さらに下流には越後平野が広がっています。
このような豊かな環境には、数多くの動植物がくらして
います。とくに、新潟県に棲む鳥類のほとんどが確認さ
れています。また、めずらしい生物も多く生息しています。



信濃川で出会える動植物

春



ヤナギ類

一番水際に生えているのは、ヤナギ類。この水際のヤナギ類が小さな洪水のときに川岸を守ってくれている。ヤナギは種類が多くて、区別が付けにくい植物で、この付近では、カワヤナギ、タチヤナギ、シロヤナギ、オノエヤナギ、イヌコリヤナギなどが多く生育している。



モンシロチョウ

春から秋まで、日当たりの良い場所で見られる白い蝶。紋があることからこう呼ばれる。幼虫はアブラナ科植物を食べ、とくにキャベツが好き。



アユ

成長するまでの春から秋にかけて、おもに中流域で生活する。生まれた稚魚は秋になると海へ下り、翌春まで海でくらす。



マルコブスジコガネ

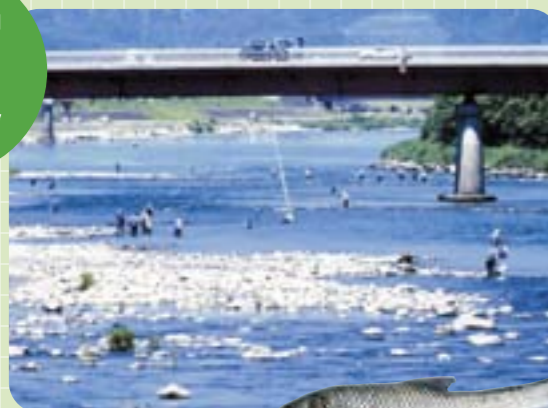
色は黒っぽく、名前の通り丸いこぶでおおわれている。数が少なく、たいへんめずらしい昆虫である。(準絶滅危惧種)



アオサギ

日本で最も大きいサギ。体は灰色で、飛ぶと黒い風切羽が見える。成鳥は、頭に黒い冠羽がある。魚やカエルなどを食べ、コロニーをつくることが多い。

夏



キアゲハ

日当たりのよい場所を好む。草原や水田の周辺などに多く、オスはなわばりを張るものもいる。幼虫はセリ科植物を食べる。



ミンソハギ

高さ1m近くに成長する。ちょうど旧暦のお盆ごろに咲いて、仏前に供えられるのでポンバナ(盆花)ともいわれる。



ウケクチウグイ

全長60cmにもなるウグイの仲間。通年見られ、下あごのほう大きい。(絶滅危惧種)

ニゴイ

4年で2kgにも育つので、ルアーフィッシングの対象魚として人気上昇中。4~7月、大雨の後に産卵する。汚れた水に強い。

オオヨシキリ

頭から背、尾は黄色っぽい。ギョギョ、ケシケンと鳴くと赤い口の中が見える。夏鳥で、オスが先に渡ってきてなわばりをつくる。



秋・冬



タコノアシ

名前は花がタコ足に見えることから。河原などの湿地に生える。(絶滅危惧種)



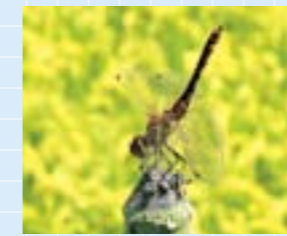
サケ

生まれた川に戻る習性がある。砂利から水のわき出る場所で産卵する。



タヌキ、ノウサギ、テン

冬眠しないので、雪の積もった翌日にさがすとたまに足跡が残っている。



アキアカネ

アカトンボの代表種。秋になると平地におりてきて産卵する。夏のあいたは高原です。最初はオレンジっぽい秋が深まると赤くなる。



ススキ・オギ・ヨシ

それぞれ背が高くなる種類で、河原などに生えて、魚、虫、鳥など生物のすみかとなっている。ススキとオギは見た目がよく似ている。

キジ

オスは胸から腹が光沢のある緑。顔は赤く、尾は長い。メスは黄かっ色で尾は短い。おどろいたとき以外はほとんど飛ばない。



オジロワシ

冬鳥として信濃川で越冬する。つがい生活している。国指定天然記念物。(絶滅危惧種)

動植物を大切にしよう!

信濃川には貴重な生物が多く棲んでいます。むやみに動植物をとらないことも重要ですが、自然の中に生きるのは、その大きなサイクルの一部としてくらしています。たとえば、エサがなくなったり、卵を産み付ける植物がなくなるとは生活できません。動植物を大切にすることは、自然全体を見つめて守ろうとすることなのです。

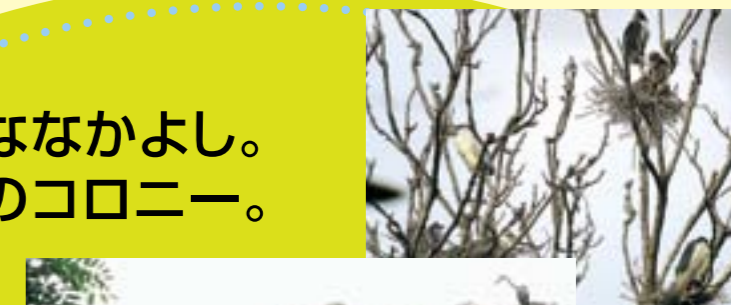


どうしたら
動植物を守れるか
考えてみよう!

川にまつわる話 その6

みんななかよし。サギのコロニー。

サギという鳥は集まって巣をつくる習性があります。それをコロニー(集団営巣地)と呼びます。ちがう種類のサギが集まったり、カワウと一緒にくらしたりするコロニーもあります。



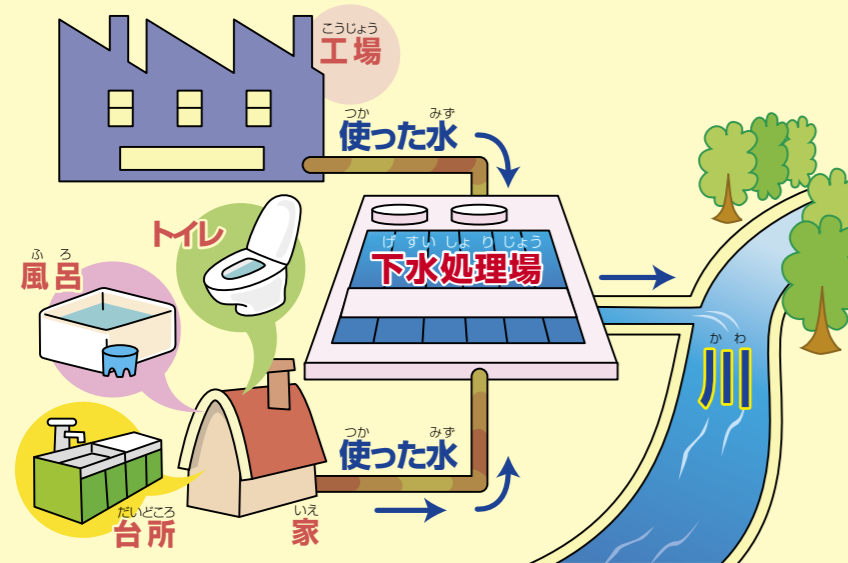
サギのコロニー種類やその近くに落ちているもの、臭い、音などを調べてみよう。

いつまでも、美しい川のまま

わたしたちのくらしと深い関わりがある信濃川。おんけいを受けるだけではなく、一人ひとりが川をまもっていき意識を持ちましょう。



きれいな水のために



わたしたちが生活の中で服を洗ったり、お風呂に入って体を洗ったりすれば、水は汚れます。この汚れた水を川に流さないために、下水処理場などへ集めて、きれいな水へと処理してから、川に流します。

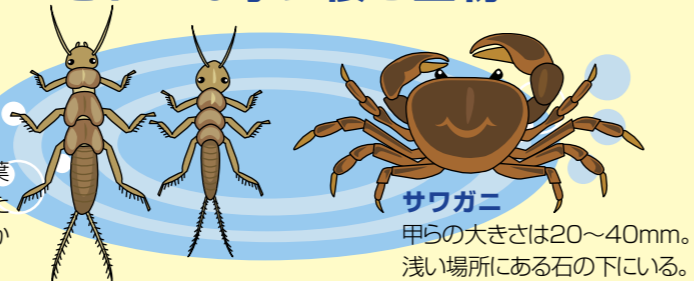
信濃川の水質

信濃川の中流域は水質がよいことでも有名です。きれいな水でしか生かれない動物も多く生息しています。

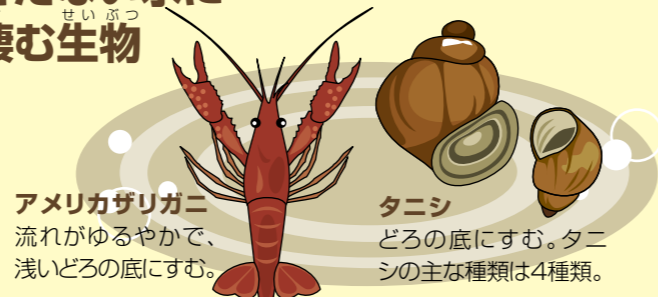
水質階級と指標生物 (環境省)

きれいな水	カワゲラ/ヒラタカゲロウ/ナガレトビケラ/ヤマトビケラ/ヘビトンボ/ブユ/アミカ/サワガニ/ウズムシ
少しきたない水	コガタシマトビケラ/オオシマトビケラ/ヒラタドROMシ/ゲンジボタル/コオニヤンマ/スジエビ/ヤマトシジミ/イシマキガイ/カワナ
きたない水	ミズカマキリ/タイコウチ/ミズムシ/イソコツブムシ/ニホンドロコエビ/タニシ/ヒル
大変きたない水	セスジユスリカ/チョウバエ/アメリカザリガニ/サカマキガイ/エラミミズ

きれいな水に棲む生物



きたない水に棲む生物



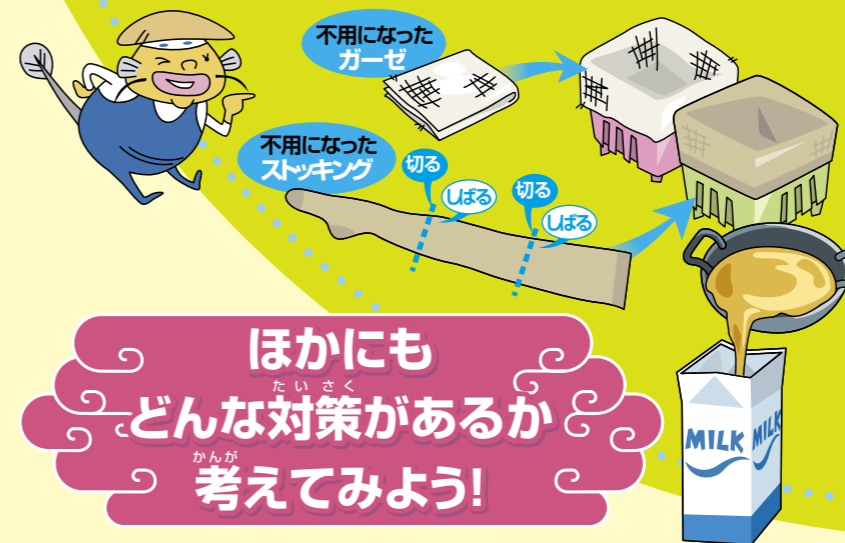
アメリカザリガニ
流れがゆるやかで、浅いどろの底にすむ。

タニシ
どろの底にすむ。タニシの主な種類は4種類。

川にまつわる話 その7

家庭でもできる。きれいな川づくり!

川や海を汚す原因の約70%が家庭から出る生活排水だといわれています。生活排水は下水道で処理されますが、元のきれいな水に戻るためには、たいへんな手間と時間がかかります。きれいな水を守るには、なんといっても水を汚さないことが1番です。



調理くずや食べ物の残りは、水といっしょに流さない。

水切りネットのかわりに、不用になったガーゼ、ストッキングを利用することもできます。

油は水に流さない。

古くなったら、牛乳パックに古新聞などを詰めただに入れて可燃ごみの日に捨てましょう。また、石けんづくりなどにリサイクルしましょう。

- 流しの排水口に、目の細かいストレーナーか三角コーナーや水切りネットを付ける。
- 食器の油汚れは、ふき取ってから洗う。

ほかにも
どんな対策があるか
考えてみよう!

信濃川はゴミ箱じゃない

信濃川には家電製品やタイヤなど、家庭ゴミが目立ちます。捨ててはいけない場所に勝手に捨てる人がいるのです。しかも残念なことに、毎年多くのゴミが捨てられています。

ゴミは見た目を悪くするだけでなく、川の施設に影響をおよぼしたり、有害物質をふくんだものが環境を汚染して動植物に被害を与えたりします。



信濃川の環境を守るために

信濃川河川事務所では、パトロールや環境調査、ゴミを集めるクリーン作戦などを行っています。

また、地域の自治体やボランティアのみなさんによってゴミ拾いが実施されています。

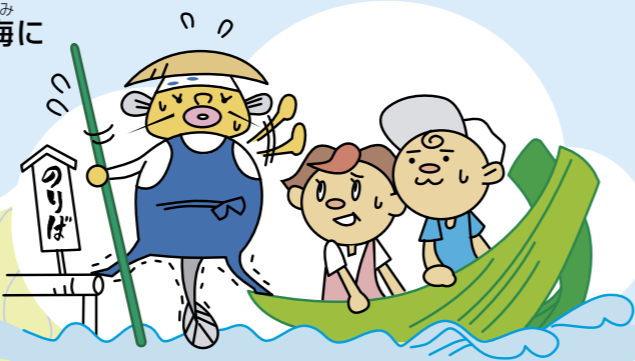


クリーン作戦

環境調査

信濃川の支流

下のマップを見てください。たくさんの小さな川が信濃川に注がれているでしょう。このような川のことを「支流」といいます。信濃川は上流から海に流れていく間に、支流の水を集めて大きな川になるのです。ここでは、魚野川をはじめとする信濃川の支流を紹介します。



信濃川流域マップ



中津川

群馬県と長野県の県境にある野反湖から流れる魚野川(※)と雑魚川が合流します。長さは46kmで、苗場山と烏甲山の間をぬけながら、まっすぐで急な斜面を一気に流れています。その水の流れで津南町に日本有数の河岸段丘を形づくりしました。切明から見玉までは「秋山郷」と呼ばれ、交通が整備されるまでは、日本の五大秘境に数えられていました。
※新潟県の魚野川とはちがいます。



清津川

佐武流山に源を発する35kmの清津川。下流で釜川と合流します。中流の八木沢から清津峡温泉までは「清津峡」と呼ばれ、その雄大な景色から日本三大渓谷のひとつになっています。自然豊かな流域のなかでも「小松原湿原」は新潟県の自然環境保全地域に指定され、短い夏には高山植物が咲きほこります。



渋海川

まがりくねって流れる渋海川は全長71km。天水山麓に源を発し、十日町市を通過して長岡市で信濃川に合流します。旧川西町では、中世から近代にかけて蛇行部分を耕地に変える「瀬替え」が行われ、独特の景観がつけられてきました。山にトンネルを掘って川の流れを引き込む「マブ」や棚田など日本の原風景に出会えます。



太田川

全長13kmと短い太田川。越後山脈南部の萱峠を源に、蓬平山脈を回って長岡市に入ります。周辺は農地が多く、また、長岡まつりの大花火大会では太田川が信濃川に合流する付近で三尺玉が打ち上げられます。太田川には悲しい歴史もあります。第二次世界大戦中、爆弾が投下され亡くなった人がいました。長岡空襲の少し前です。爆弾が投下された場所には碑が建てられています。



※支川の長さは、河川法で指定された区間

柿川

源流は長岡市南蛮山で、長さは11km。殿町や坂之上など長岡の繁華街を通過して信濃川に合流します。長岡市南部の農地や市街地の排水を流す役割をしています。信濃川と合流する地点には柿川排水機場があり、水量を調節しながら信濃川からの逆流をふせいでいます。



栖吉川

栖吉川の長さは14km、水源は越後山脈南部にある鋸山です。昔の栖吉川は現在よりもずっと川幅がせまく、大雨のたびに川の水があふれたり、洪水によって護岸がこわれたりしていました。現在では、水辺までおられる階段護岸がつけられたところもあり、水に親しめる空間となっています。



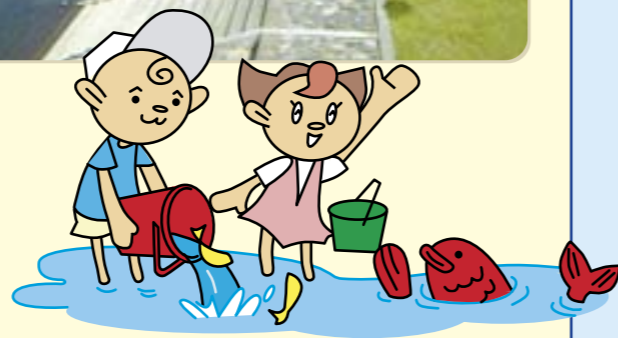
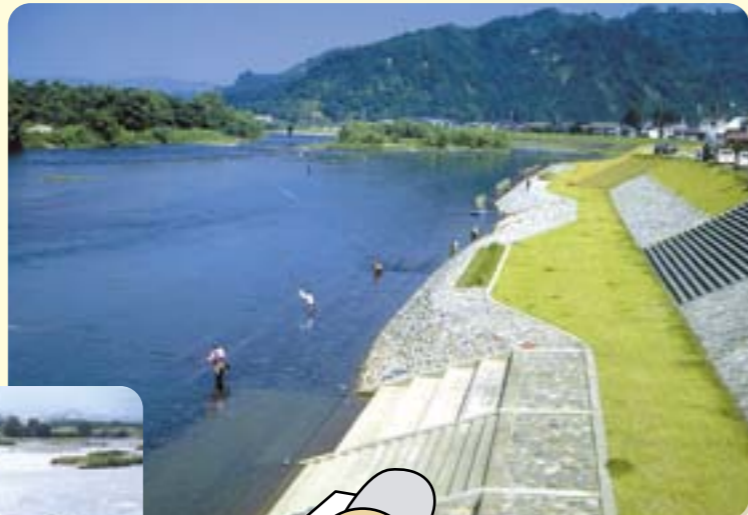
三国川

長さ19kmの三国川。その上流はきわめてけわしいV字型の峡谷で、昔はひんぱんに洪水や濁水が起こりました。昭和44(1969)年の洪水では死者4名、重傷者9名、農地や家屋も流されてしまいました。昭和42年と48年には濁水で米づくりにダメージを与えました。このような歴史から三国川ダムが建設されました。



魚野川

魚野川は長さ67km、信濃川中流部最大の支流です。破間川・佐梨川・水無川・三国川・登川・大源太川などを支流に持っています。清流として古くから流域をうるおし、自然や文化、地域の産業を育んできました。現在では日本一の米づくりの里として有名です。また、川魚も豊富で多くの釣りファンがおとずれています。



佐梨川

佐梨川は、駒ヶ岳に水源を発し、長さは18kmの川で、旧小出町で魚野川に合流します。魚野川に流れ込むまでに温泉のたくさんある湯之谷温泉郷を通ります。また、下流の河川公園では、小出小学校の児童や地域の方々によって、たくさんのお花が育てられています。



破間川

守門岳、浅草岳、前毛猛岳、毛猛岳など高い山々が水源です。魚野川へ流れ込む38kmの間に、守門川、末沢川、黒又川、松川の水を集めて、魚沼の水田地帯をうるおしています。浅草岳山頂付近は8月ごろまで雪が残り、貴重な高山植物や昆虫たちの宝庫です。上流には、破間川ダムがあります。



自分の家の近くにある川を調べてみよう!

もっと、信濃川を知るために

信濃川大河津資料館



明治9(1876)年に開始された信濃川の改修工事から100年を記念し、昭和53(1978)年に開館しました。「大河津分水」の歴史と役割に、「出会い、学び、極める、ふれる」ための施設です。

大河津出張所の旧庁舎をそのまま利用した独特な外観



②テーマミニシアター
80インチのスクリーンで越後平野のなり立ちや水害の歴史、大河津分水建設運動と工事の完成から現在までのあらましを映像で紹介しします。(40名収容)

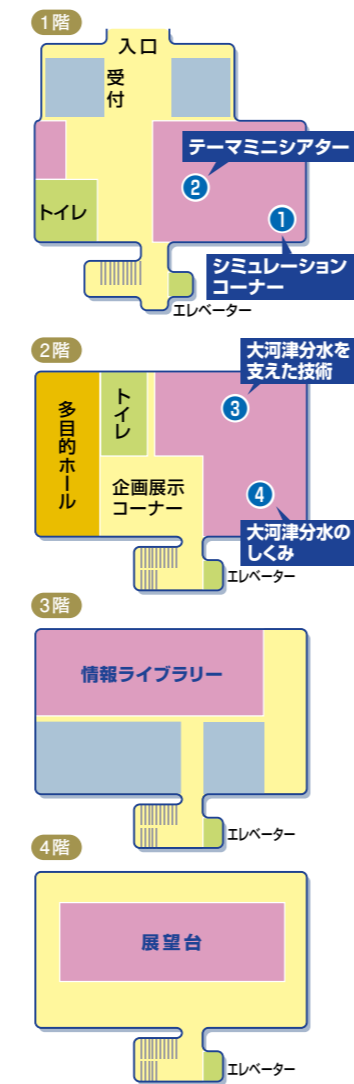
①シミュレーションコーナー
大河津分水がなかったら私たちの街はどうなるのか? 「もし大洪水が起きたら」を疑似体験することができます。



③大河津分水を支えた技術
大河津分水の建設の土木技術や、工事の様子などを紹介しします。また実際に使用されたトロッコを展示。



④大河津分水のしくみ
大河津分水のしくみを約1/2000スケールの模型とCGで紹介。



- 1階 信濃川と越後平野のなりたちや人々の暮らしと風土を通して大河津分水の歴史と役割を紹介しします。
展示内容 ミニシアター、越後平野と信濃川、越後平野の風土と信濃川、横田切れ、大河津分水の計画としくみ、もし大河津分水がなかったら、大河津分水がもたらした豊かな越後平野、資料館周辺情報
- 2階 大河津分水建設の歴史とそれに関わる人々を紹介しします。
展示内容 大河津分水のあゆみ、大河津分水を支えた技術、堰の技術、大河津分水に尽力した技術者、大河津分水の機能の維持
- 3階 信濃川や大河津分水に関する書籍などを閲覧することができます。
- 4階 雄大な信濃川や大河津分水の風景を楽しめる全天候型の展望室。

課外授業などで、気軽に利用できる施設があります。信濃川に関する情報はもちろん、地域と川の関係、自然や文化など、さまざまな面から信濃川を見ることができます。



信濃川妙見記念館

信濃川妙見記念館では、わたしたちの暮らしと信濃川の関わりや、妙見堰の役割を紹介しています。1階には映写室が、2階には自然や地域を紹介する展示室があります。3階には妙見堰の模型が展示されているほか、望遠鏡が設置されていて、野鳥観察のスポットとなっています。



▲1階 映写室
100インチのワイドスクリーンで妙見堰紹介ビデオ「川と私たちの暮らし」など、ビデオ、レーザーディスクが楽しめます。



◀2階 展示室
信濃川に棲む魚の水槽、昆虫の標本、妙見堰に飛来する鳥たちのくせいがあります。



秋には魚道をサケが上る姿がみられます。



信濃川妙見記念館 外観



妙見堰



新潟県長岡市妙見町29番地 TEL 0258-23-1636 FAX 0258-22-3591
●開館時間/9:00~16:30 ●休館日/土・日・祝日、年末年始(12月29日から1月3日)
※土、日、祝日も事前にご予約いただいた場合には開館いたします ●入館料/無料
URL http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/myoken_k/

しなの川学習館

小中学校の総合学習や地域のみなさんの「もっと信濃川を知りたい!」という声におこたえて、信濃川河川事務所の一部を「しなの川学習館」として公開しています。



しなの川学習館入口

▼学習コーナー
信濃川の郷土史、治水、土木技術、環境、生態などの本やビデオがあります。



パネルコーナー
信濃川の豆知識をパネルで紹介しています。みなさんの学習成果も展示します!



休憩スペース
勉強につかれたらひと休み。外に出て堤防を歩くのも気持ちがいいですよ。

新潟県長岡市信濃1丁目5番30号 TEL 0258-32-3020 FAX 0258-33-8168
●開館時間/9:00~16:30 ●休館日/土・日・祝日、年末年始(12月29日から1月3日) ●入館料/無料
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/gakusyu/>



にいがたけんりつれきしはくぶつかん 新潟県立歴史博物館	にいがたけんじょうもんじんせかい 新潟県のおゆみ・縄文人の世界など	長岡市関原町1丁目権現堂2247番2 ☎ 0258-47-6130(代)
ながおかしきょうどしりょうかん 長岡市郷土史料館	きょうどしゅつしんしゃぎょうせき 郷土出身者の業績など	長岡市御山町80番地24(悠久公園内) ☎ 0258-35-0185
ながおかしりつかがくはくぶつかん 長岡市立科学博物館	かくしゅきょうどしりょう 各種郷土資料など	長岡市柳原町2-1、柳原分庁舎内 ☎ 0258-32-0546
ながおかしよいたれきしみんぞくしりょうかん 長岡市与板歴史民俗資料館	かくしゅみんぞくきょうどしりょう 各種民俗・郷土資料など	長岡市与板町与板乙4356 ☎ 0258-72-2021
ながおかしてらだまりみんぞくしりょうかん 長岡市寺泊民俗資料館	かくしゅみんぞくきょうどしりょう 各種民俗・郷土資料など	長岡市寺泊二ノ関2367 ☎ 0258-75-5155(教委寺泊分室)
とおかまちしはくぶつかん 十日町市博物館	ゆきおりものしなのがわ テーマ「雪と織物と信濃川」。 火焰型土器(国宝)など	十日町市西本町1 ☎ 025-757-5531
とおかまちじょうほうかん 十日町情報館	かくしゅとしょきょうどしりょう 各種図書、郷土資料など	十日町市西本町2 ☎ 025-750-5100
とおかまちしかわにしれきしみんぞくしりょうかん 十日町市川西歴史民俗資料館	かくしゅみんぞくきょうどしりょう 各種民俗・郷土資料など	十日町市友重乙29番地1 ☎ 025-768-2167
うおのがわかいしゅうしりょうかん 魚野川改修資料館	かせんかいしゅうきょうどしりょう 河川改修・郷土資料など	魚沼市古新田531-42 ☎ 025-794-6071(魚沼市都市整備課)
つばめしぶんすいりょうかんしりょうかん 燕市分水良寛史料館	りょうかんみんぞくきょうどしりょう 良寛・民俗・郷土資料など	燕市上諏訪9番9号 ☎ 0256-97-2428
かわぐちれきしみんぞくしりょうかん 川口歴史民俗資料館	かくしゅみんぞくきょうどしりょう 各種民俗・郷土資料など	長岡市東川口1979-128 ☎ 0258-89-4030



おほこうづぶんすい
大河津分水ものがたり

しなのがわおほこうづしりょうかん
信濃川大河津資料館のガイドブックです。「信濃川と越後平野」「大河津分水ができるまで」「大河津分水ができてから」「大河津分水-今と将来」の4部構成。写真やイラストをふんだんに使って、治水の歴史をわかりやすく紹介しています。

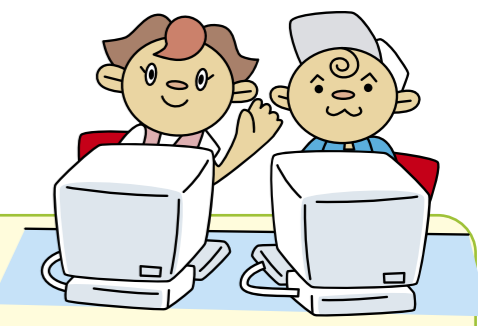
サイズ・ページ数/A4、本文52ページ

しなのがわ
信濃川

しなのがわがいようこうすいたたれきししなのがわ
信濃川の概要や洪水との戦いの歴史、その信濃川とともに歩んできた信濃川河川事務所の仕事について紹介しています。また、広げるとA1サイズになる20万分の1の信濃川河川事務所管内図を掲載しています。

サイズ/折りたたんだ状態A4(開くとA1)

※このほかにもいろいろなパンフレットがあります。お問い合わせご利用を希望される方は信濃川河川事務所 調査課まで ▶ 信濃川河川事務所 調査課 Tel:0258-32-3243



まな
「ホームページ」で学んでみよう!

- しなのがわかせんじむしょ
▶ **信濃川河川事務所**
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

しなのがわじょうりゅう
信濃川上流から大河津分水路までと魚野川を管理しています。仕事の内容や信濃川、大河津分水路、魚野川に関する情報を提供しています。
- しなのがわかりゅうかせんじむしょ
▶ **信濃川下流河川事務所**
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/>

しなのがわ
信濃川の下流および新潟海岸を管理しています。仕事の内容や信濃川、新潟海岸に関する情報を提供しています
- ちくまがわかせんじむしょ
▶ **千曲川河川事務所**
<http://www.hrr.mlit.go.jp/tikuma/>

ながのけん
長野県にある「千曲川河川事務所」のサイトです。「千曲川情報館」では千曲川に関する詳細データから文化・生態系など様々な情報を提供しています。
- ゆざわさぼうじむしょ
▶ **湯沢砂防事務所**
<http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>

しなのがわちゅうりゅう
信濃川中流域の魚野川・清津川・中津川などで砂防事業を行っています。砂防のあれこれや観光・地域情報を紹介しています。
- まつもとさぼうじむしょ
▶ **松本砂防事務所**
<http://www.hrr.mlit.go.jp/matamoto/>

さぼうじむしょ
砂防の仕事や北アルプスの観光・地域情報を紹介しています。小学生用のページもあります。
- さぐりがわかんりしよ
▶ **三国川ダム管理所**
<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>

さぐりがわ
三国川ダムの歴史や役割とともに、周囲の自然や観光情報を提供しています。
- おおまちかんりしよ
▶ **大町ダム管理所**
<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>

おおまち
大町ダムの歴史や役割とともに、周囲の自然や観光情報を提供しています。
- かわこくどこうつうしよ
▶ **川であそぼう(国土交通省)**
<http://www.kawaasobi.jp/>

かわ
「川であそぼう」の姉妹ホームページ。いろいろな川あそびの紹介や、安全とルールについて紹介します。川のママ知識なども豊富に掲載されています。
- かわ
▶ **じゃぶじゃぶ川ねっと!**
<http://www.mlit.go.jp/river/kasen/main/kids/>

かわ
川についてのいろいろな解説や、生活との関わり、遊び方、生きものについて紹介しています。
- ほくりくちほうせいひきよくとど
▶ **ふれあいプログラム**
<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/>

ほくりくちほうせいひきよくとど
北陸地方整備局がお届けする、「学び」の情報はここから発信します。お探しの情報が簡単に見つけられますよ。豊富なメニューを取りそろえて、みなさんのご利用をお待ちしています。

でまえこうざまな
「出前講座」で学んでみよう!

「出前講座」とは、その名の通り。みなさんのところまで信濃川河川事務所の職員がうかがって、事務所の事業やあらゆる情報を講義します。小学生が対象の入門編から、専門家を対象とした上級編まで講義内容はさまざま。みなさんが持っている興味、疑問などにわかりやすくお答えします。

お申し込み先
国土交通省 北陸地方整備局 出前講座事務局
Tel: 025-280-8880(内線3191) FAX: 025-280-8835 お申し込みHP: <http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/>



発行

国土交通省 北陸地方整備局
信濃川河川事務所

〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号
TEL 0258-32-3020 FAX 0258-33-8168
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

●この本に掲載されているデータは事務所HPから取り出せます。

●この本をご希望の方は信濃川河川事務所 調査課まで

初版 平成18年3月作成
第二版 平成24年3月作成